



RACE REVIEW

全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 岡山

4連勝ならずも2位表彰台を獲得。ポイントランキング首位を堅持!



9月28日(土)予選 1分32秒420で2番グリッドを獲得。32秒台に7人が並び、混戦が予想される決勝に。



岡山で4連勝を決めて年間チャンピオン獲得を盤石なものにしたい野左根航汰は、できるだけ有利なスターティンググリッドを獲得したいところ。野左根は金曜のフリー走行で、午前、午後とフロントフォークのセッティングを変えてトライしますが、トップタイムは出せず、1分32秒965で2番手のタイムでした。

この日の公式予選は、1分32秒台に7人のライダーが乗せてくる結果となりました。その中でポールポジションを獲得したのは、セッションの後半で1分32秒215を記録したデチャ・クライサー選手。ここ数戦でも野左根の好敵手となっているタイ出身の選手です。

野左根はタイヤがなかなか暖まらず、クリアラップで走行できる時間が少なくなり、ようやく最終周で1分32秒420までタイムを縮めますが、デチャ選手には及びませんでした。ポールポジションには今シーズン初となるデチャ選手、2番グリッドに野左根、3番グリッドに長島哲太選手が入りました。

Pos.	No.	Machine	Rider	Team	Time
1	30	YZF-R6	DECHA KRAISART	Yamaha Thailand Racing Team	1'32.215
2	31	YZW-N6	野左根 航汰	ウエビックチームノリックヤマハ	1'32.420



9月29日(日)決勝 3連勝ならずも冷静にレースを運び2位表彰台を獲得。ポイントランキング首位を堅持!

公式予選で1分32秒台に乗せてきたのは、デチャ・クライサー選手、長島哲太選手、井筒仁康選手、ポイントランキング2位で野左根の後を追う生形秀之選手、関口太郎選手、浦本修充選手と上位常連選手7人の顔ぶれによるスターティンググリッドとなりました。

ホールショットを獲ったのは3番グリッドから飛び出した長島選手。しかし、直後の1コーナーでブレーキングに失敗したところをデチャ選手がトップを奪取します。

スタート直後の3番手の位置からチャンスをうかがう野左根はデチャ選手をかわして、2周目に入る時点でトップとなり、野左根、デチャ選手、長島選手、井筒選手でトップ集団が形成されます。

その後、井筒選手、長島選手が次々とトップを奪い取るなど、序盤はトップ集団の順位が目まぐるしく変わる展開となります。井筒選手は長島選手にパスされた後、野左根、デチャ選手からも遅れを取ってトップ集団から離れていき、4周目以降は長島選手、野左根、デチャ選手の三つ巴となりました。野左根、デチャ選手は、それぞれパッシングを狙うものの決め手がなく、順位の変動がないままレースは終盤まで進みます。

デチャ選手がペースを上げられず徐々に遅れる一方、野左根はトップの長島選手にぴったりとつき勝負を仕掛けに行こうとします。しかし、マシントラブルとフィナルラップでの周回遅れ選手の追い越しにつまずき、長島選手にはあと1歩及ばず、4戦連続の優勝はなりませんでした。

マシントラブルに見舞われながらも、野左根は落ち着いたレースを運びで着実に2位を獲得したことで、ポイントランキング首位を堅持。最終戦の鈴鹿ラウンドを残して、ポイントランキング2位の生形選手とのポイント差も前節の4ポイントから8ポイントに広げました。

野左根航汰とウェビックチームノリックヤマハは、初のJ-GP2クラスチャンピオン獲得をかけた11月2日から3日の鈴鹿サーキットでの最終戦に臨みます。

>>続きはこちら[【レースレポート】全日本ロードレース 第8戦 in 岡山](#)

>>次戦のJ-GP2は、[11月2日\(土\)・3日\(日\) 全日本ロードレース 第9戦 鈴鹿](#)にて開催予定です。

▼フォトギャラリーはこちら

[【Webike Team Norick YAMAHA】全日本ロードレース第8戦 in 岡山](#)



RESULT

決勝レース公式結果

Pos.	No.	Rider	Team	Lap
1	45	長島 哲太	テルル&EM★KoharaRT	19
2	31	野左根 航汰	ウエビックチームノリックヤマハ	19
3	30	DECHA KRAISART	Yamaha Thailand Racing Team	19
4	2	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	19
5	634	浦本 修充	MuSASHiRTハルク・プロ	19

ポイントランキング

Pos.	No.	Rider	Pts.	TRM	TC	TRM	SUGO	AP	OIC
1	31	野左根 航汰	135	18	20	25	25	25	22
2	2	生形 秀之	127	22	25	22	20	20	18
3	634	浦本 修充	102	16	16	16	16	22	16
4	51	高橋 英倫	91	25	22	20	13	11	
5	34	岩田 悟	82	8	18	13	12	18	13

ライダーからのメッセージ



レースウィークを通してコンディションはまずまずといったところですが、フリー走行初日から1分32秒台を狙っていきました。決勝では2位から追いつけていきましたが、発生してしまったトラブルについては仕方がないと思います。

(ツインリンクもてぎでの)Moto2ワイルドカード参戦については、どこまでいけるかがわかりませんが、全力を出していきます。

鈴鹿の最終戦については、今回のレースでポイント差が広がったので、このままの調子でいければ大丈夫だと思います。

シリーズチャンピオンを勝ち取ります。

(Webike TeamNorick YAMAHA 野左根 航汰)

阿部監督より「レースを終えて」



マシンのセッティングを色々試したりしていたので、予選では十分な状態で走る時間を多く得られませんでした。

2番グリッドでのスタートなので、優勝を狙うのに問題ないポジションでしたが、決勝ではペースが上がるのに時間がかかり、なかなか1位の長島選手をかわすことができませんでした。

しかし、重大なマシントラブルに見舞われながら、無事に2位で完走したことはとてもよかったです。

以前にもトラブルに見舞われながら無事に完走したこともあり、悪い状況に直面しても対応できるようになってきていると前向きにとらえることができます。

来月のMoto2ワイルドカード参戦も目指すは表彰台、せめてシングルフィニッシュを狙いポイントをとっていきます。去年の代役参戦とは違って、条件がよいのでテストに時間をかけられます。鈴鹿の最終戦についても、有終の美を飾りたいですね。

Moto2ワイルドカード、鈴鹿での最終戦ともに、皆さまからの応援をよろしくお願いします。

NEXT RACE...

[Rd.9] 鈴鹿 2013年11月2日(土) / 2013年11月3日(日)

【鈴鹿サーキット】

いよいよ次が最終戦となる全日本ロードレース。第9戦は鈴鹿サーキットで開催されます。全長5.821km。日本を代表するサーキットです。シリーズチャンピオンが決定するこのレース、ぜひ鈴鹿サーキットで楽しみましょう！

サーキット概要

二輪:5.821km
(東コース2.243km/
西コース3.475km)
コース幅 10m-16m
アクセス 鈴鹿I.Cより約20分
亀山I.Cより約30分



公式サイト情報

Webike TeamNorick YAMAHA

<http://norick.webike.net/>

野左根 航汰選手 プロフィール

<http://norick.webike.net/nozane-kota/>

参戦マシン紹介

<http://norick.webike.net/machine/>

2013年 レーススケジュール

<http://norick.webike.net/race-schedule/>

公式Facebookページ

Webike TeamNorick YAMAHA公式facebook

<http://www.facebook.com/Webike.Team.Norick.Yamaha>

Webike Team Norick YAMAHA
facebook 公式ページ

■□■□バイク用品 & インプレッション情報誌「ウェビック スタイル」□■□■
発行/編集 バイク用品&インプレッション ウェビック

このメールは、送信専用メールアドレスから配信されています。ご返信いただいてもお答えできませんので、ご了承ください。

ご意見・感想および各種問い合わせは[こちら](#)からお願いいたします。

Copyright (C) 2000-2013 Rivercrane Corporation. All Rights Reserved.